

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-331243

(43)Date of publication of application : 30.11.1999

(51)Int.Cl.

H04L 12/54

H04L 12/58

G06F 13/00

(21)Application number : 10-150571

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 14.05.1998

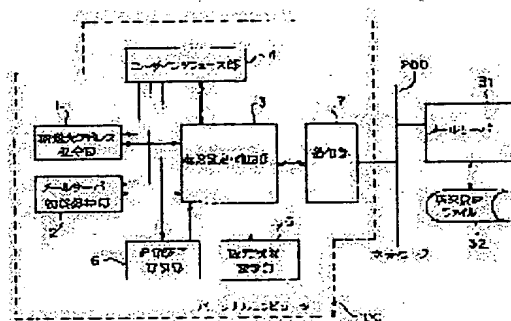
(72)Inventor : OMORI KENTA

(54) AUTOMATIC ELECTRONIC MAIL TRANSFER SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate the operation for generating and deleting a transfer setting file on a mail server.

SOLUTION: A transfer destination address storage section 1 stores a mail address of a transfer destination received from a user interface section 4 till the address is updated. A mail information storage section 2 stores address information and account information of the mail server received from the user interface section 4 till the information is updated. A transfer setting confirmation section 3 makes communication with a mail server 31 via a communication section 7 in response to an instruction received from the user interface section 4 or an instruction from a start end confirmation section 6 and conducts processing such as transfer setting (generation of a transfer setting file), confirmation of transfer setting, and transfer release (deletion of the transfer setting file). A setting status display section 5 displays the transfer setting status confirmed by the transfer setting confirmation section 3 on a display device.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

14.05.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

21.03.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 1 1 - 3 3 1 2 4 3

(43) 公開日 平成 1 1 年 (1 9 9 9) 1 1 月 3 0 日

(51) Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H04L 12/54

H04L 11/20

101

B

12/58

G06F 13/00

351

G

G06F 13/00

351

審査請求 有 請求項の数 6 F D (全 7 頁)

(21) 出願番号

特願平 1 0 - 1 5 0 5 7 1

(22) 出願日

平成 1 0 年 (1 9 9 8) 5 月 1 4 日

(71) 出願人

0 0 0 0 0 4 2 3 7

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号

(72) 発明者

大森 健太

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株

式会社内

(74) 代理人

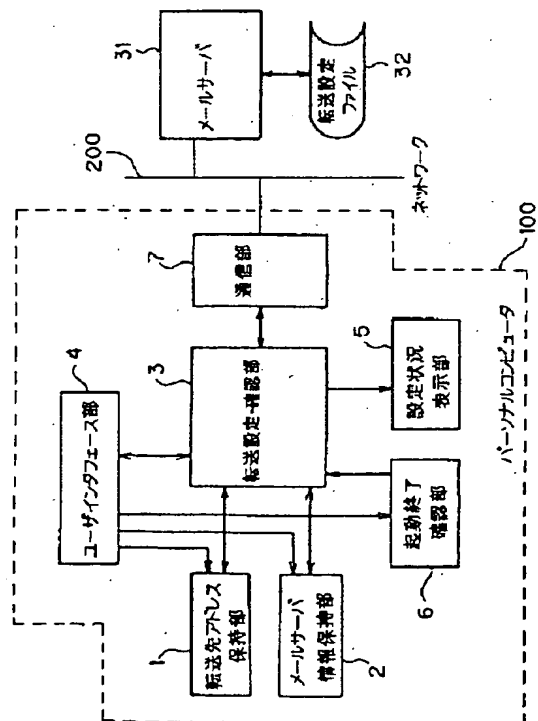
弁理士 岩壁 冬樹

(54) 【発明の名称】 電子メール自動転送システム

(57) 【要約】

【課題】 メールサーバ上の転送設定ファイルの作成や削除の操作は容易ではない。

【解決手段】 転送先アドレス保持部 1 は、ユーザインタフェース部 4 から入力された転送先のメールアドレスを更新されるまで保持する。メールサーバ情報保持部 2 は、ユーザインタフェース部 4 から入力されたメールサーバのアドレス情報やアカウント情報を更新されるまで保持する。転送設定・確認部 3 は、ユーザインタフェース部 4 から入力された指示または起動終了確認部 6 からの指示に応じて、通信部 7 を介してメールサーバ 31 と通信を行い、転送設定 (転送設定ファイルの作成)、転送設定の確認、および転送解除 (転送設定ファイルの削除) の処理を行う。設定状況表示部 5 は、転送設定・確認部 3 が確認した転送設定状況をディスプレイに表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 システム内のメールサーバに到着電子メールの転送先を設定しうる電子メール自動転送システムにおいて、

前記メールサーバのメールサービスを受ける端末装置は、

転送先アドレスをユーザに入力させるユーザインタフェースを提供するユーザインタフェース手段と、

前記ユーザインタフェース手段に入力された転送先アドレスを保持する転送先アドレス保持手段と、

前記転送先アドレス保持手段に保持されている転送先アドレスを用いて前記メールサーバに転送設定を依頼する転送設定手段とを備えたことを特徴とする電子メール自動転送システム。

【請求項 2】 端末装置は、メールサーバにログインするための情報を保持するメールサーバ情報保持手段を備え、

ユーザインタフェース手段は、前記メールサーバに転送設定を依頼することを指示するためのユーザインタフェースを提供し、

転送設定手段は、メールサーバに対する転送設定依頼の指示が前記ユーザインタフェース手段に入力されると、前記メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いて前記メールサーバにログインし、前記メールサーバに転送設定を依頼する請求項 1 記載の電子メール自動転送システム。

【請求項 3】 ユーザインタフェース手段は、メールサーバに転送設定解除を依頼することを指示するためのユーザインタフェースを提供し、

転送設定手段は、メールサーバに対する転送設定解除依頼の指示が前記ユーザインタフェース手段に入力されると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いて前記メールサーバにログインし、前記メールサーバに転送設定解除を依頼する請求項 2 記載の電子メール自動転送システム。

【請求項 4】 端末装置は、メールサーバの電子メール転送設定状況を確認する転送確認手段を備え、

ユーザインタフェース手段は、メールサーバの転送設定状況を確認することを指示するためのユーザインタフェースを提供し、

前記転送確認手段は、メールサーバの転送設定状況の確認の指示が前記ユーザインタフェース手段に入力されると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いて前記メールサーバにログインし、メールサーバの転送設定状況を受信して前記ユーザインタフェース手段に出力する請求項 3 記載の電子メール自動転送システム。

【請求項 5】 端末装置は、装置の起動を検出する起動確認手段を備え、

転送設定手段は、前記起動確認手段が装置の起動を検出

すると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いてメールサーバにログインし、前記メールサーバに転送設定解除を依頼する請求項 2、3 または 4 記載の電子メール自動転送システム。

【請求項 6】 端末装置は、装置の停止を検出する終了確認手段を備え、

転送設定手段は、前記終了確認手段が装置の停止を検出すると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いてメールサーバにログインし、前記メールサーバに転送設定を依頼する請求項 2、3、4 または 5 記載の電子メール自動転送システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、あるメールアドレスに送られてきた電子メールを他のメールアドレスに自動的に転送する電子メール自動転送システムに関する。

【0002】

【従来の技術】会社内 LAN システム等において、メールサーバが設けられ、システム内において電子メールをやりとりする方式が広く用いられている。また、会社外からシステム内の任意のメールアドレスに到来した電子メールもメールサーバで管理される。そのような会社内 LAN システム等では、セキュリティを確保するために外部からのアクセスに障壁が設けられていることが多い。一方、携帯情報端末やノート型パーソナルコンピュータの普及に伴って、外出先で会社内 LAN システム等における自分宛のメールを読みたいというニーズが高まっている。

【0003】上記のようなシステムの場合に、外出先から会社内 LAN システム内の端末に宛てて電子メールを送信することはできるが、外出先で自分宛のメールを直接メールサーバから取り出すことはできない。そこで、外出先で自分宛のメールを読みたいときには、社外からアクセス可能なプロバイダのメールサーバにメールを転送する方式がとられる。例えば、社内システムのメールサーバに、あらかじめ自分宛の電子メールの転送先を設定しておく。

【0004】メールサーバとして UNIX サーバが用いられることが多い。UNIX サーバが用いられている場合には、自分宛の電子メールの転送先を設定するときには、システム内の端末から社内システムにおけるメールサーバにログインし、メールサーバ上に転送先アドレス等を含む転送設定ファイルを作成する。また、社外のメールサーバへの転送が不要になったときには、システム内の端末から社内システムにおけるメールサーバにログインし、転送設定ファイルを削除する操作を行う。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところが、転送設定ファイルの作成や削除の操作は容易ではないので、一般ユーザは、その操作になれていないときには、例えば、メ

ールサーバの管理者に転送設定ファイルの作成や削除を依頼することになる。しかし、メールサーバの管理者が不在のときには転送設定ファイルの作成や削除を行ってもらうことができず、タイムリーな設定および解除を行うことはできないという課題がある。また、一般ユーザが自身で作成や削除を行う場合であっても、転送設定ファイルの削除を行うことを忘れがちである。転送設定ファイルの削除を忘れてしまった場合には、転送先のメールサーバに不必要に電子メールが転送され、ひいては、転送先のメールサーバのメールボックスを溢れさせてしまうという課題もある。

【0006】そこで、本発明は、メールサーバに対する転送設定ファイルの作成や削除の操作を容易化して、社外等で自分宛の電子メールを取り出せる環境を容易に構築したり解除したりできる電子メール自動転送システムを提供することを目的とする。

【0007】なお、電子メールの自動転送を実現するシステムとして特開平 8 - 3 1 4 8 2 9 号公報に記載されたシステムがあるが、そのシステムでは、メールサーバではなく端末装置が転送処理を行う。また、メールサーバが電子メールの自動転送を実行するシステムとして特開平 9 - 2 3 8 1 5 7 号公報に記載されたシステムがあるが、そのシステムは、システム内での転送を行うものであって、また、各電子メールについてメールが発生する度に転送制御を行う。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明による電子メール自動転送システムは、メールサーバのメールサービスを受ける端末装置が、転送先アドレスをユーザに入力させるユーザインタフェースを提供するユーザインタフェース手段と、ユーザインタフェース手段に入力された転送先アドレスを保持する転送先アドレス保持手段と、転送先アドレス保持手段に保持されている転送先アドレスを用いてメールサーバに転送設定を依頼する転送設定手段とを備えた構成である。

【0009】電子メール自動転送システムは、端末装置が、メールサーバにログインするための情報を保持するメールサーバ情報保持手段を備え、ユーザインタフェース手段はメールサーバに転送設定を依頼することを指示するためのユーザインタフェースを提供し、転送設定手段は、メールサーバに対する転送設定依頼の指示がユーザインタフェース手段に入力されると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いてメールサーバにログインし、メールサーバに転送設定を依頼するように構成されていてもよい。また、ユーザインタフェース手段はメールサーバに転送設定解除を依頼することを指示するためのユーザインタフェースを提供し、転送設定手段は、メールサーバに対する転送設定解除依頼の指示がユーザインタフェース手段に入力されると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いてメール

サーバにログインし、メールサーバに転送設定解除を依頼するように構成されていてもよい。そして、端末装置が、メールサーバの電子メール転送設定状況を確認する転送確認手段を備え、ユーザインタフェース手段はメールサーバの転送設定状況を確認することを指示するためのユーザインタフェースを提供し、転送確認手段は、メールサーバの転送設定状況の確認の指示がユーザインタフェース手段に入力されると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いてメールサーバにログインし、メールサーバの転送設定状況を受信してユーザインタフェース手段に出力するように構成されていてもよい。

【0010】また、端末装置が、装置の起動を検出する起動確認手段を備え、転送設定手段は、起動確認手段が装置の起動を検出すると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いてメールサーバに自動的にログインし、メールサーバに転送設定解除を依頼するように構成されていてもよい。そして、端末装置が、装置の停止（ログアウト）を検出する終了確認手段を備え、転送設定手段は、終了確認手段が装置のログアウトを検出すると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いてメールサーバに自動的にログインし、メールサーバに転送設定を依頼するように構成されていてもよい。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。図1は本発明による電子メール自動転送システムの一例を示すブロック図である。図1に示す例では、パーソナルコンピュータ100が、社内LAN等のネットワーク200を介してメールサーバ31に接続され、メールサーバ31における転送設定ファイル32が明示されている。また、図1では、パーソナルコンピュータ100における電子メール自動転送機能を実現する各ブロックが示されている。

【0012】パーソナルコンピュータ100において、転送先アドレス保持部1は、ユーザインタフェース部4から入力された転送先のメールアドレスを更新されるまで保持する。メールサーバ情報保持部2は、ユーザインタフェース部4から入力されたメールサーバのアドレス情報やアカウント情報を更新されるまで保持する。転送設定・確認部3は、ユーザインタフェース部4から入力された指示または起動終了確認部6からの指示に応じて、通信部7を介してメールサーバ31と通信を行い、転送設定（転送設定ファイルの作成）、転送設定の確認、および転送解除（転送設定ファイルの削除）の処理を行う。設定状況表示部5は、転送設定・確認部3が確認した転送設定状況をディスプレイに表示する。

【0013】なお、ユーザインタフェース部4は、ディスプレイに入力メニューや入力内容等を表示するソフトウェアとマウスやキーボード等の入力装置とで実現され

る。転送先アドレス保持部 1 およびメールサーバ情報保持部 2 は、パーソナルコンピュータ 1 0 0 のハードディスク等の記憶装置で実現される。設定状況表示部 5 は、ディスプレイに設定状況を表示するソフトウェアで実現される。

【 0 0 1 4 】 また、起動終了確認部 6 は、パーソナルコンピュータ 1 0 0 の起動および終了を監視するものであり、例えば、オペレーティングシステムの機能で実現される。転送設定・確認部 3 は、ソフトウェアで実現される。そして、通信部 7 は、ネットワーク 2 0 0 を物理的に接続する物理インタフェースと通信プロトコルを実行するソフトウェアとで実現される。

【 0 0 1 5 】 次に、動作について図 2 の説明図および図 3 ~ 図 6 のフローチャートを参照して説明する。図 2 は、ユーザインタフェース部 4 がディスプレイに表示するメール転送設定画面の一例を示す説明図である。図 3 は、転送設定・確認部 3 の動作を示すフローチャートである。図 4 は、図 3 に示された転送設定処理の具体的処理を示すフローチャートである。図 5 は、図 3 に示された転送設定解除処理の具体的処理を示すフローチャートである。図 6 は、図 3 に示された転送設定確認処理の具体的処理を示すフローチャートである。

【 0 0 1 6 】 この実施の形態では、パーソナルコンピュータ 1 0 0 は、ユーザが外出や帰宅するときなどのメールサーバ 3 1 から直接自分宛のメールを引き出せない環境に移動する前に、ユーザ指示に応じて、メールサーバ 3 1 上に転送先アドレス等が設定された転送設定ファイルを作成する処理を行う。また、パーソナルコンピュータ 1 0 0 を立ち上げたときには、パーソナルコンピュータ 1 0 0 が自動的に転送設定ファイルを削除する処理を行う。さらに、パーソナルコンピュータ 1 0 0 を立ち下げるとき（ログアウト時、例えば電源オフ時）には、パーソナルコンピュータ 1 0 0 が自動的に転送設定ファイルを作成する処理を行う。

【 0 0 1 7 】 パーソナルコンピュータ 1 0 0 が起動されると、起動終了確認部 6 は、起動されたことを転送設定・確認部 3 に通知する。転送設定・確認部 3 は、パーソナルコンピュータ 1 0 0 が自動転送設定モードに設定されているときには、転送設定解除処理を行う（ステップ S 1 , S 2 ）。自動転送設定モードおよび転送設定解除処理については、後で詳しく説明する。

【 0 0 1 8 】 その後、メール転送設定に関するソフトウェアを起動する処理がユーザによってなされると、転送設定・確認部 3 は、図 2 に示す画面をディスプレイに表示する（ステップ S 3 , S 4 ）。図 2 に示された例では、メールサーバ 3 1 のメールサーバ名 1 0 、アカウント 1 1 およびパスワード 1 2 をユーザに入力させる欄が表示される。

【 0 0 1 9 】 また、パスワードを保存するかどうかチェックする欄に加えて、自動設定を解除するかどうかチェック

する欄（自動設定解除チェックボックス） 1 7 が表示される。ユーザがマウス等によって自動設定解除チェックボックス 1 7 にチェックを行うと、転送設定・確認部 3 は自動転送設定モードに設定する。ユーザが自動設定解除チェックボックス 1 7 のチェックを外すと、転送設定・確認部 3 は自動転送設定モードを解除する。

【 0 0 2 0 】 また、図 2 に示された例では、ユーザが転送先アドレスを記入するための転送先アドレス設定欄 1 3 、ユーザが転送設定を指示するための設定実行ボタン 1 4 、ユーザが転送解除設定を指示するための設定解除ボタン 1 5 、およびユーザが転送設定状況を確認するための設定状況ボタン 1 6 も表示される。さらに、設定状況表示部 5 が転送設定状況を表示するための転送状況表示欄 1 8 が設けられている。

【 0 0 2 1 】 なお、図 2 には、転送先アドレスとして、" a b c d , a b c d @ e f g h . n e . j p " が例示されている。その意味は、自分宛の電子メールを、システムにおける自身のアカウント a b c d のメールボックスと、外部システムのメールサーバにおけるアカウント a b c d @ e f g h . n e . j p のメールボックスとに配信することを指示している。

【 0 0 2 2 】 ユーザがメールサーバ名 1 0 、アカウント 1 1 およびパスワード 1 2 を入力すると（ステップ S 5 ）、ユーザインタフェース部 4 は、それらをメールサーバ情報保持部 2 に格納する（ステップ S 6 ）。また、ユーザが転送先アドレス設定欄 1 3 に転送先アドレスを入力すると（ステップ S 7 ）、ユーザインタフェース部 4 は、それを転送先アドレス保持部 1 に格納する（ステップ S 8 ）。

【 0 0 2 3 】 そして、ユーザが設定実行ボタン 1 4 をクリックすると（ステップ S 9 ）、転送設定・確認部 3 は転送設定処理を行う（ステップ S 1 0 ）。すなわち、転送先アドレス保持部 1 から転送先アドレスを読み出し（ステップ S 4 1 ）、転送先アドレスを内容とする転送設定ファイルを作成する（ステップ S 4 2 ）。なお、転送設定ファイルのファイル名は、" . f o r w a r d " であるとする。さらに、メールサーバ情報保持部 2 からメールサーバ 3 1 と通信するための情報を読み出し、その情報にもとづいて通信部 7 を介してメールサーバ 3 1 に接続する（ステップ S 4 3 ）。メールサーバ 3 1 に接続できログインできたら、転送設定・確認部 3 は、転送設定ファイルをメールサーバ 3 1 の所定の場所に転送する（ステップ S 4 4 ）。

【 0 0 2 4 】 ユーザが設定解除ボタン 1 5 をクリックすると（ステップ S 1 1 ）、転送設定・確認部 3 は転送設定解除処理を行う（ステップ S 1 2 ）。すなわち、メールサーバ情報保持部 2 からメールサーバ 3 1 と通信するための情報を読み出し、その情報にもとづいて通信部 7 を介してメールサーバ 3 1 に接続する（ステップ S 5 1 ）。メールサーバ 3 1 に接続できログインできたら、

転送設定・確認部 3 は、メールサーバ 3 1 の " . f o r w a r d " のファイルを削除する (ステップ S 5 2)。

【 0 0 2 5 】 ユーザが設定状況ボタン 1 6 をクリックすると (ステップ S 1 3)、転送設定・確認部 3 は転送設定確認処理を行う (ステップ S 1 4)。すなわち、メールサーバ情報保持部 2 からメールサーバ 3 1 と通信するための情報を読み出し、その情報にもとづいて通信部 7 を介してメールサーバ 3 1 に接続する (ステップ S 6 1)。メールサーバ 3 1 に接続できログインできたら、メールサーバ 3 1 に " . f o r w a r d " のファイルがあるか否か確認する (ステップ S 6 2)。" . f o r w a r d " のファイルがあれば、設定状況表示部 5 は、転送状況表示欄 1 8 にそのファイルの内容を表示する (ステップ S 6 3)。

【 0 0 2 6 】 図 2 に示されたメール転送設定の画面を開じる操作が行われると、転送設定・確認部 3 は、画面を閉じて処理を終了する (ステップ S 1 5)。その後、パーソナルコンピュータ 1 0 0 の立ち下げが生ずると (ステップ S 1 6)、起動終了確認部 6 は、ログアウトされたことを転送設定・確認部 3 に通知する。転送設定・確認部 3 は、パーソナルコンピュータ 1 0 0 が自動転送設定モードに設定されているときには、図 4 に示された転送設定処理を行う (ステップ S 1 7, S 1 8)。なお、ここでは、起動終了確認部 6 が装置の立ち上げおよび立ち下げを確認すると転送設定・確認部 3 に通知するようにしたが、起動終了確認部 6 が装置の立ち上げおよび立ち下げを確認すると、自動転送設定モードに設定されているか否か確認して、転送設定解除処理および転送設定処理を直接実行してもよい。

【 0 0 2 7 】 メールサーバ 3 1 は、" . f o r w a r d " の転送先ファイルが設定されているときには、該当するユーザ宛の電子メールを、転送先ファイルに設定されている転送先アドレスに転送する。転送先ファイルが設定されていないときには、メールサーバ 3 1 は、そのユーザ用のメールボックスに到着メールを保管する。

【 0 0 2 8 】 以上のこの実施の形態によれば、ユーザが、ユーザインタフェース部 4 で表示される画面で必要な設定を行うだけで、パーソナルコンピュータ 1 0 0 は、自動的に転送先ファイルをメールサーバ 3 1 上に作成する。また、ユーザが 1 つのボタンをクリックするだけで、パーソナルコンピュータ 1 0 0 は、自動的に転送先ファイルをメールサーバ 3 1 から削除する。よって、従来の場合のようなメールサーバ 3 1 における複雑な設定を行うことなく、電子メールの転送設定および転送設定解除を行うことができる。すなわち、ユーザは、システム外で自分宛の電子メールを受け取れる環境を簡単に構成できる。

【 0 0 2 9 】 また、自動転送設定モードに設定されている場合には、パーソナルコンピュータ 1 0 0 の起動時に自動的に転送先ファイルがメールサーバ 3 1 から削除さ

れ、自分宛の電子メールがメールサーバ 3 1 で保管される状態になる。そして、パーソナルコンピュータ 1 0 0 の立ち下げ時に自動的に転送先ファイルがメールサーバ 3 1 上に作成され、自分宛の電子メールが転送される状態になる。よって、ユーザがメールサーバ 3 1 における転送先ファイルの削除を忘れてしまって不必要に電子メールが転送されてしまう事態が防止される。

【 0 0 3 0 】

【発明の効果】 以上のように、本発明によれば、電子メール自動転送システムを、端末装置が、転送先アドレスをユーザに入力させるユーザインタフェースを提供するユーザインタフェース手段と、ユーザインタフェース手段に入力された転送先アドレスを保持する転送先アドレス保持手段と、転送先アドレス保持手段に保持されている転送先アドレスを用いてメールサーバに転送設定を依頼する転送設定手段とを備えた構成にしたので、社外等で自分宛の電子メールを取り出せる環境を容易に構築できる効果がある。

【 0 0 3 1 】 メールサーバに対する転送設定依頼の指示が入力されると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いてメールサーバにログインし、メールサーバに転送設定を依頼するように構成されている場合には、メールサーバに対する転送設定ファイルの作成の操作を容易化して、ユーザは、容易に社外等で自分宛の電子メールを取り出せる環境を構成できる。また、メールサーバに対する転送設定解除依頼の指示が入力されると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いてメールサーバにログインし、メールサーバに転送設定解除を依頼するように構成されている場合には、メールサーバに対する転送設定ファイルの削除の操作も容易化される。メールサーバの転送設定状況の確認の指示が入力されると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いてメールサーバにログインし、メールサーバの転送設定状況を受信してユーザインタフェース手段に出力するように構成されている場合には、メールサーバの現在の転送設定がどうなっているのか容易に確認できる。

【 0 0 3 2 】 装置の起動を検出すると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いてメールサーバにログインし、メールサーバに転送設定解除を依頼するように構成されている場合には、装置が起動すると自動的に転送設定が解除されるので、転送設定の解除忘れによる弊害が生じない効果がある。

【 0 0 3 3 】 そして、装置のログアウトを検出すると、メールサーバ情報保持手段に保持されている情報を用いてメールサーバにログインし、メールサーバに転送設定を依頼するように構成されている場合には、終了時に自動的に転送設定が設定されるので、設定忘れによる弊害が生じない効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明による電子メール自動転送システムの一例を示すブロック図である。

【図 2】 ユーザインタフェース部がディスプレイに表示するメール転送設定画面の一例を示す説明図である。

【図 3】 転送設定・確認部の動作を示すフローチャートである。

【図 4】 転送設定処理を示すフローチャートである。

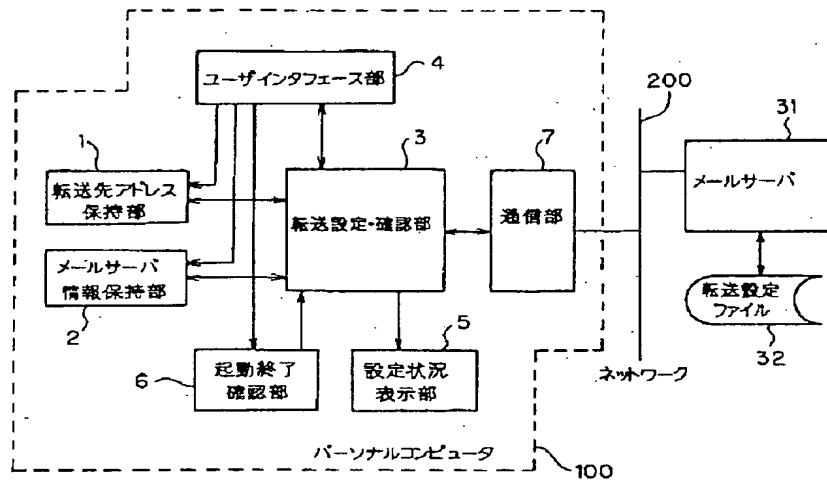
【図 5】 転送設定解除処理を示すフローチャートである。

【図 6】 転送設定確認処理を示すフローチャートである。

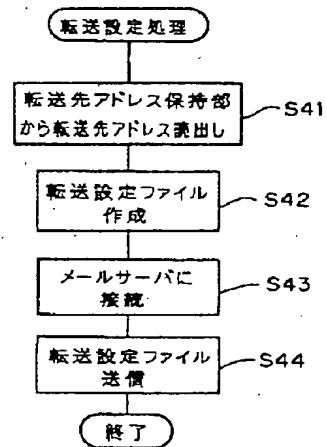
【符号の説明】

- | | |
|-----|-------------|
| 1 | 転送先アドレス保持部 |
| 2 | メールサーバ情報保持部 |
| 3 | 転送設定・確認部 |
| 4 | ユーザインタフェース部 |
| 5 | 設定状況表示部 |
| 6 | 起動終了確認部 |
| 7 | 通信部 |
| 31 | メールサーバ |
| 32 | 転送設定ファイル |
| 100 | パーソナルコンピュータ |
| 200 | ネットワーク |

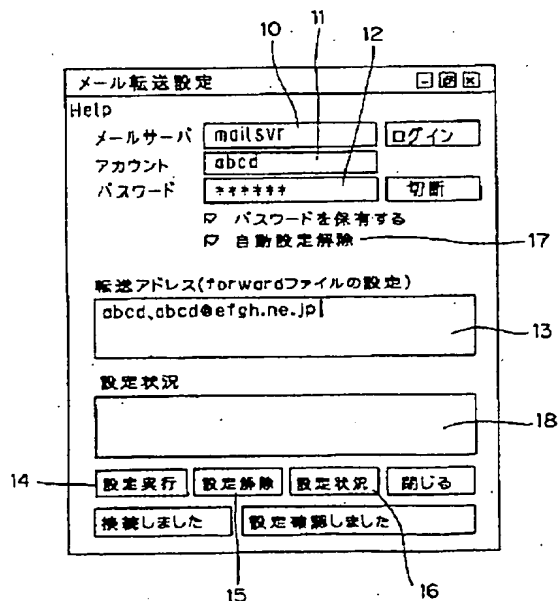
【図 1】



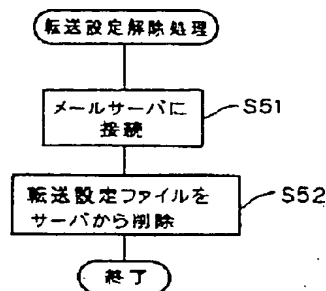
【図 4】



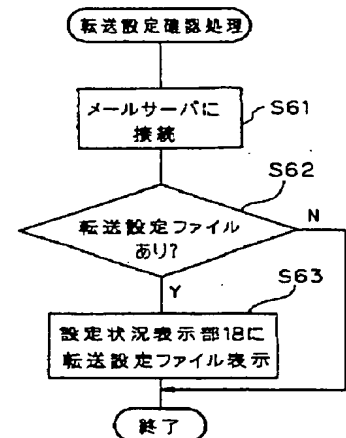
【図 2】



【図 5】



【図 6】



【図 3】

